

犬や猫の引き取りについて



犬や猫を飼う場合、終生飼養することは飼い主の責務です。

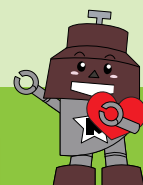
しかし、様々な理由で犬や猫を飼い続けることが困難になる場合があります。万が一に備え、犬、猫を預けられるかた、世話をしてくれるかたを飼う前に見つけておきましょう。

保健所では、やむを得ない事情で飼うことができなくなった犬や猫について、新しい飼い主を十分に探していただいても、なお見つからない場合は引き取りの相談を受けております。

(猫の捕獲、駆除などは行っておりません。)

あなたの決断が一つの命を奪うこともあります。

家族の一員として、一緒に生活してきた大切な命です。手放す前によく考えてみてください。





- 安易に手放すことを考えず、飼い続ける方法がないか探しましたか？
- 自分で飼い続けられなくても、他に方法がないか考えましたか？
- 家族全員で話し合いましたか？後日、気持ちが変わったり、家族の申し出があったりしても、一度引き取った犬、猫をお返しすることは一切できません。
- 友人、親戚、近所のかた、獣医師、動物愛護団体に相談してみましたか？
- かみ癖や鳴き止まないなどの問題行動が理由の場合、飼い主の育て方に問題がある場合があります。しつけ方教室への参加やペットトレーナー、獣医師に相談などしてみましたか？
- 攻撃性は不妊・去勢手術で軽減される場合もあります。獣医師などに相談してみましたか？
- 老齢や病気などが理由の場合、自宅で最後まで看取ることや獣医師への相談を検討してみましたか？

「急に飼うことができなくなった」という場合は少ないはずですが。
安易に結論を急がずに、十分に考えて結論を出してください。